

令和6年9月13日

奈良県田原本町

学術変革領域研究(A) 「暴れる気候」と人類の過去・現在・未来(代表:中川毅)

唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト

キックオフ講演会について

8月 27 日の記者発表でもふれました、「唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト」につきまして、 本プロジェクトの趣旨をより多くの方に知っていただくため、下記のとおり講演会及びミニ展 示を開催します。

記

■ 主催(研究主体)

主催:学術変革領域研究(A) 24A101「「暴れる気候」と人類の過去・現在・未来」(代表: 中川毅)及び学術変革領域研究(A) 計画班 24H02191「人は「暴れる気候」にどう 対応したか 一年縞研究と日本考古学とのコラボレーション―」(代表:工藤雄一郎)

共催:田原本町

■ 講演会

- ·日時 9月22日(日)午後1時30分~午後4時15分
- ・場所 田原本青垣生涯学習センター2階 研修室
- ・内容 (基調講演)古代の人々が手に入れた「おだやかな」暮らし

一年縞から見えてくる「人間にとって切実な」気候変動一

中川 毅(立命館大学・教授)

(講演①)世界一の年表を唐古・鍵遺跡から

大森 貴之(東京大学・特任研究員)

(講演②)唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクトの概要

白石 哲也(山形大学·准教授)

- ·定員 80 人(申込不要 先着順 聴講無料)
- 唐古・鍵考古学ミュージアム ミニ展示
 - 1.展 示 名 「気候変動と唐古・鍵遺跡」
 - 2. 開催期間 令和 6 年9月 10 日(火)~令和 7 年 4 月中旬

9 時~17 時(入館は 30 分前まで)

会期中の休館日:月曜日(月曜日が祝休日の場合は次の平日)

【報道資料】

5.内

3. 展示会場 唐古・鍵考古学ミュージアム

4. 観 覧 料 一般 200 円、高校·大学生 100 円

容 本展示は、山形大学と田原本町が連携して実施する「唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト」のキックオフ・ミニ展示です。本プロジェクトでは、福井県の水月湖やグアテマラのペテシュバトゥン湖の湖底堆積物で、1年ごとの環境変動が記録された「年縞」の解析と、唐古・鍵遺跡及びマヤ文明最古(紀元前1000年ごろ)の遺跡であるアグアダ・フェニックス遺跡等の調査から考察した社会・文化の変化を対比することで、気候変動が人々の生活に与えた影響を探り、今後予想される気候変動への対応に寄与することがプロジェクトの目的です。

今回のミニ展示では、年編及びマヤ文明に関わる遺跡の紹介と、本研究プロジェクトの目的及び研究手法について紹介し、今後進められる研究で明らかになっていく成果公開に向けてプロジェクトの内容を広く知っていただく内容とします。

6. 展示構成

- ①水月湖・ペテシュバトゥン湖の年縞(実物、立命館大学所蔵)
- ②アグアダ・フェニックス遺跡(マヤ文明遺跡)の 3D スキャンデータを基にしたジオラマ(個人蔵)
- ③炭化物が付着した弥生土器 (唐古・鍵遺跡出土、本町蔵。遺跡の年代測定に使用)
- ④「船を漕ぐ人物」の絵画土器〔複製〕 (唐古・鍵遺跡出土、本町蔵。紀元前1世紀ごろの洪水堆積物から出土)

この件に関するお問い合わせ先

- ・関連事業(講演会・ミュージアム展示)について 田原本町教育委員会事務局文化財保存課 TEL:0744-32-4404
- ・気候変動プロジェクトについて

山形大学 白石 哲也 Mail:tshiroishi@cc.yamagata-u.ac.jp

唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクト キックオフ講演会

田原本町と山形大学は、令和 6 年から令和 10 年度にかけて共同研究を進めることになりました。この共同研究では、弥生時代の人々が気候変動にどう対応しようとしたのかを研究します。これにより、今後私達が直面していくことになる気候変動に対する適応戦略について考えていきます。

今回の講演会は、本研究プロジェクトのキックオフ講演会です。今後の私達と、母なる地球とのかかわり方を考えていくきっかけにしていただけたらと思います。

●基調講演

古代の人々が手に入れた「おだやかな」暮らし

一年編から見えてくる「人間にとって切実な」気候変動 一

中川 毅(立命館大学教授)

■講演①

世界一の年表を唐古・鍵遺跡から

●講演②

唐古・鍵遺跡気候変動プロジェクトの概要

大森 貴之(東京大学特任研究員)

白石 哲也(山形大学准教授)

シンポジウム



令和 6年 9月 22日 ■

13 時 30 分~ 16 時 15 分 (12 時 30 分開場)

田原本青垣生涯学習センター 2 階研修室 定員 80名(先着順/申し込み不要) 聴講無料

唐古・鍵考古学ミュージアム
KARAKO-KAGI ARCHAEOLOGICAL MUSEUM
TEL.0744-34-7100 FAX.0744-34-0522
F636-0247 意具開始毎田原本列版手233-1 田原末何重生学号センタ-2期
https://www.town.tawaramoto.nara.jp/karako.kagi/museum/

唐古・鍵考古学 ミューシアムHP



雪古・鍵ハーチャル ミューシアムHP



主催:学術変革領域研究(A)計画班24H02191

「人は「暴れる気候」にどう対応したか 一年縞研究と日本考古学とのコラボレーション一」(代表:工藤雄一郎)

共催: 田原本町